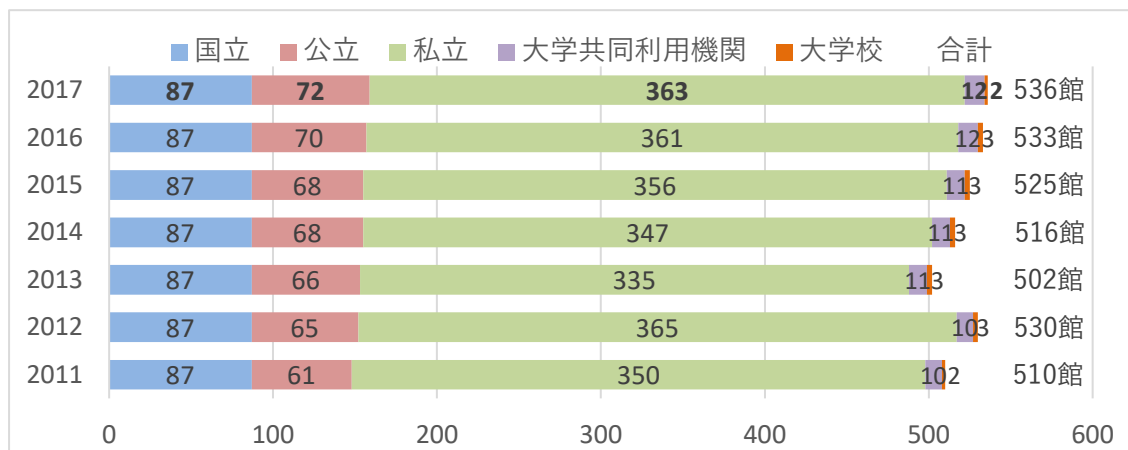


2017年度 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）活動報告
（2017年9月30日現在）

1. 組織・体制

(1) 会員館数 （国公立大学，大学共同利用機関，省庁大学校の図書館）



(2) 運営体制 （9. 2017年度委員等名簿 参照）

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議			
JUSTICE 運営委員会	委員	15名	（会員館から選出）
交渉作業部会	委員	31名	（会員館から選出） ※ 1名増員
調査作業部会	協力員	5名	（会員館から選出）
広報作業部会			
JUSTICE 事務局	専任職員	3名	（会員館から出向）

2. 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定

(1) 出版社交渉

	2017年度（9月30日現在）	（参考）2016年度
交渉・協議対象	62社（海外55，国内7）	68社（海外60，国内8）
提案合意，開示済	55社（海外49，国内6） 119提案・215製品	58社（海外52，国内6） 114提案・213製品
交渉中	3社	-
直接対面交渉回数	53回	95回

2016年10月～	2017年度／2018年契約向け提案の条件交渉～提案合意
2017年4月～	会員館への提案書開示（会員館限定ウェブページに掲載）
2017年9月6・7日	版元提案説明会@学術総合センター（東京） （出版社が会員館へ提案内容を直接説明）
2017年10月～	2018年度／2019年契約向け提案の予備交渉開始

(2) 契約状況調査

- ・全会員館の最新の契約状況を把握することにより、出版社交渉の際の基礎データとして活用する。また、調査結果の概要を会員館へ開示し、コンソーシアムの現状について周知する。
- ・2017年度調査実施（5月9日～6月9日）

	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
対象館数	533館	527館	522館	507館	494館	514館	486館
回答館数	529館	525館	520館	506館	483館	495館	459館
回収率	99.2%	99.6%	99.6%	99.8%	97.8%	96.3%	94.4%

- ・調査結果速報版を会員館限定ウェブページへ掲載（8月30日）
- ・調査結果最終版を作成中（10月下旬掲載予定）

(3) 版元提案説明会

- ・JUSTICEと出版社等が合意した提案内容について、出版社等から会員館へ直接説明する場として、毎年度開催している。
- ・2017年度開催日程：2017年9月6日(水)～7日(木)

場所：一橋大学一橋講堂・中会議場（東京都千代田区一ツ橋）

参加数	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
会員館	194館	196館	191館	207館	203館	197館	208館
	314名	310名	308名	330名	320名	282名	292名
出版社等	34社	34社	33社	32社	31社	32社	28社
	157名	147名	144名	116名	111名	115名	96名

- ・説明会の開催に先立ち、広報作業部会の企画・運営による会員館向け勉強会「電子資料の有効利用のために - 『電子資料契約実務必携』の活用 -」を開催し、178名の参加があった。
- ・説明会開催期間中、会場内に「JUSTICE ヘルプデスク」を設置し、作業部会委員が会員館参加者の質問・相談に対応した（相談件数48件）。

(4) OA2020への対応検討

- ・2015～2016年度、運営委員会の下に設置した「論文公表実態調査チーム」において、調査を実施してきた。国内の研究者が公表した論文のデータを入手し、雑誌掲載論文数／オープンアクセス論文数／APCの支払推定額等を、出版社ごと／機関ごと／分野ごとに集計するものである。
- ・2016年8月、学術雑誌のオープンアクセス出版への転換を目指す国際的なイニシアティブ“OA2020”の関心表明に、運営委員会委員長名で署名を行った。
- ・2017年度、運営委員会の下に「OA2020対応検討チーム」を設置し、論文公表実態調査を継続するとともに、日本においてOA2020にどのように対応していくか、検討を行う。

(5) 国内電子書籍の導入検討

- ・2016年度、運営委員会の下に「国内電子書籍導入検討チーム」を設置し、日本の大学への国内電子書籍の導入を促進するため、会員館の導入状況や意見・要望も踏まえて、出版・提供関係者との協議を行っている。

3. 電子リソースのバックファイル・電子コレクション等の拡充

(1) 電子ジャーナル・バックファイル

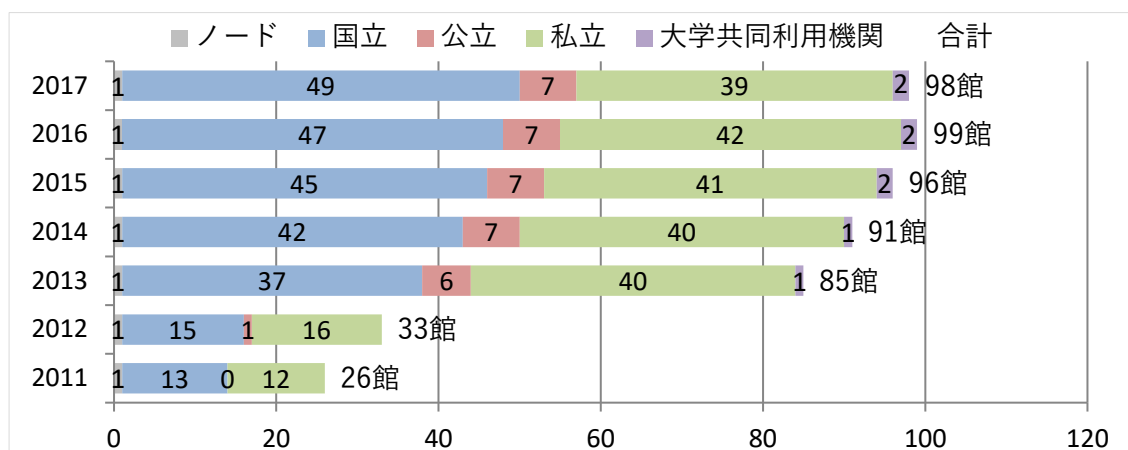
- ・ナショナル・アカデミック・ライセンスによるバックファイルの整備について、NIIの協力を得ながら継続的に検討を行っている。
- ・日本学術会議「第23期学術の大型研究計画に関するマスタープラン」(マスタープラン2017)の重点大型研究計画の一つとして、「電子ジャーナル・バックファイル等へのアクセス基盤の整備」(NIIがJUSTICEの協力を得て実施)が選定された。その後、文部科学省「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定」(ロードマップ2017)に応募したが、不採択となった。

(2) 人文社会科学系電子コレクション

- ・NIIからの経費的支援により、現在3種類のコレクションを大幅割引価格で提案中。
 - MoMW II: The Making of the Modern World, Part II, 1851-1914 (社会科学系学術図書)
 - ECCO: Eighteenth Century Collections Online (18世紀英国・英語圏刊行物集成)
 - EEBO: Early English Books Online (初期英語書籍集成)
- ・NIIにおいて、MoMW, MoMW IIの購入機関にMARCレコードを配付。

4. 電子リソースの長期保存とアクセス保証

- ・世界中の大学図書館および学術出版社が共同運営する大規模なダークアーカイブ(保存)プロジェクト“CLOCKSS”について、NIIと連携し国内参加館の拡大を図っている。
- ・CLOCKSS未参加の出版社に対しては、出版交渉時に参加を要求している。



5. 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上

(1) 研修会・勉強会の開催

1) JUSTICE 電子資料契約実務研修会

地 区	東北地区（仙台会場）	中国四国地区（広島会場）
日 時	2017年7月7日(金) 13:30～17:00	2017年7月14日(金) 13:30～17:00
会 場	東北大学附属図書館本館	広島大学中央図書館
内 容	第一部 電子資料の有効利用のために：『電子資料契約実務必携』の活用	
講 師	田中 千尋（横浜市立大学）	岡山 孝子（大阪市立大学）
	第二部 電子資料契約実務事例紹介および意見交換	
	小中 啓司（立命館大学）	村上 健治（大阪大学）
参加者	26名	36名

2) 版元提案説明会開催前の勉強会

日 時	2017年9月6日(水) 10:30～11:45 ※版元提案説明会の初日
会 場	一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 学術総合センター）
内 容	電子資料の有効利用のために：『電子資料契約実務必携』の活用
講 師	田中 千尋（横浜市立大学，交渉／広報作業部会委員）
参加者	178名

6. 広報および情報収集・提供に係る活動

(1) 会員館向け広報誌“jusmine”の発行（JUSTICE 会員館限定ウェブページに掲載）

号	発行日	特集
No.28	2017.4.27	2017年度 JUSTICE 活動予定／JUSTICE 丸ごと活用術
No.29	2017.8.21	電子資料契約実務研修会開催報告／版元提案説明会開催予告

(2) 国際会議への派遣

1) 国際図書館コンソーシアム連合（ICOLC）会合

- ・国際図書館コンソーシアム連合（International Coalition of Library Consortia : ICOLC）の春季（北米）と秋季（欧州）の国際会議に，会員館の職員を派遣し，海外のコンソーシアムとの間で情報共有・意見交換を行っている。

回次	日程	開催地	派遣者
2017 春季	2017.4.23-26	ジャクソンヴィル （アメリカ）	矢野 恵子（明治大学） 会員館職員 山形 知実（北海道大学） 事務局職員

7. 会議の開催

(1) 運営委員会

回次	開催日	主な議題
準備会議	2017.3.17	総会の開催報告, 2017 年度運営委員会委員, ほか
第 1 回	2017.5.31	2017 年度活動体制, 出版社交渉の状況, 海外の状況, ほか
第 2 回	2017.8.2	出版社交渉の状況, 版元提案説明会の開催予定, ほか

8. 主な活動経過

2017 年 4.23-26	国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) 2017 年春季会合 (アメリカ・ジャクソンヴィル) に JUSTICE 会員館および事務局から職員を派遣
4.27	会員館向け広報誌 jusmine No.28 発行
5.9-6.9	2017 年度契約状況調査を実施
5.17	国立大学図書館協会春季理事会 (東京大学) で活動状況報告
5.31	2017 年度第 1 回交渉作業部会
5.31	2017 年度第 1 回運営委員会
5.31	運営委員会の下に OA2020 対応検討チームを設置
6.22	第 64 回国立大学図書館協会総会 (千葉) で活動状況報告 会場内でのブース出展による広報活動
6.28	会員館へ 2017 年度会費請求書を送付
6.29	2017 年度第 2 回交渉作業部会
7.7	電子資料契約実務研修会 in 仙台 (東北大学) を開催
7.11	第 14 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議で活動状況報告
7.12	2017 年度第 3 回交渉作業部会
7.14	電子資料契約実務研修会 in 広島 (広島大学) を開催
7.28	第 82 回国公私立大学図書館協力委員会 (京都大学) で活動状況報告
8.1	2017 年度第 4 回交渉作業部会
8.2	2017 年度第 1 回広報作業部会
8.2	2017 年度第 2 回運営委員会
8.21	会員館向け広報誌 jusmine No.29 発行
8.31-9.1	私立大学図書館協会 2017 年度総会・研究大会 (大阪) で会場内でのインフォデスク出展による広報活動
9.6-7	2017 年度版元提案説明会 (一橋大学一橋講堂・中会議場)

9. 2017年度委員等名簿（2017年9月30日現在）

(1) 運営委員会委員〔15名〕

筑波大学学術情報部情報企画課長	奥村小百合	
東京大学附属図書館事務部長	高橋 努	
東京大学附属図書館情報管理課長	細川 聖二	交渉作業部会主査
一橋大学学術・図書部長(兼)学術情報課長	鈴木 宏子	広報作業部会主査
京都大学附属図書館学術支援課長	山中 節子	調査・副主査
広島大学図書館部図書学術情報企画グループリーダー	山根 博	
横浜市立大学学務・教務部学術情報課長	浅見 敏雄	
大阪府立大学学術情報課学術情報室長	大前 富美	調査作業部会主査
慶應義塾大学三田メディアセンター事務長	市古みどり	委員長
東京慈恵会医科大学学術情報センター課長補佐	北川 正路	交渉・副主査
明治大学学術・社会連携部図書館総務事務室副参事	柴尾 晋	
早稲田大学図書館調査役（電子資料担当）	笹渕 洋子	交渉・副主査
関西大学図書館事務長	濱生 快彦	広報・副主査
国立情報学研究所学術基盤推進部次長	江川 和子	
国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長	小陳左和子	事務局長

(2) 作業部会委員〔31名〕

北海道大学	三浦 千穂	静岡大学	大山 努	法政大学	井口 幸
東北大学	藤澤こず江	名古屋大学	藤井 洋子	明治大学	西脇亜由子
筑波大学	浅野ゆう子	京都大学	長坂 和茂	早稲田大学	大坪 ゆき
千葉大学	池尻 亮子	大阪大学	村上 健治	同志社大学	平岩佐知子
東京大学	中山 知士	大阪大学	藤田 直美	立命館大学	北爪 裕
東京工業大学	砂押 久雄	九州大学	沖 政広	立命館大学	小中 啓司
お茶の水女子大学	平田 義郎	横浜市立大学	田中 千尋	関西大学	北野 正人
一橋大学	石山 夕記	大阪市立大学	岡山 孝子	近畿大学	楳田 真也
横浜国立大学	立石亜紀子	慶應義塾大学	森嶋 桃子	関西学院大学	赤坂 亨
新潟大学	小杉しおり	中央大学	高杉 幸史		
信州大学	小島 浩子	東京理科大学	中尾 拓史		

(3) 作業部会協力員〔5名〕

東京大学	飯塚 亜子	横浜市立大学	海浦 浩子	国立情報学研究所	尾城 孝一
神戸大学	末田真樹子	明治大学	矢野 恵子		

(4) 事務局職員〔3名〕

国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長	小陳左和子	(東京大学)
国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室	蔵城 一樹	(立命館大学)
国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室	山形 知実	(北海道大学)